

自立型人材を育てる！令和のリーダーシップ

～相手が自然と動き出す関わり方の極意～

想定する対象者	全組合員と組合執行部
提供する価値	令和の時代、リーダーに求められる資質は大きく変化しています。かつてのように「命令・強制・恐怖」に頼ったマネジメントでは、メンバーのやる気も潜在能力も引き出せません。むしろ、パワハラと受け取られるリスクすらあります。 <u>いま求められるのは、メンバーを「動かす」のではなく、「自ら動きたくなる」状態をつくるリーダーシップ</u>です。そのためには、相手に真の自信を育み、主体性を引き出す関わりが不可欠です。それは、単なるテクニックやコミュニケーションスキルだけでは決して実現できません。<u>必要なのは、“相手の内側に火を灯す”アプローチ</u>です。 私自身、この関わり方をコーチングに活用することで、何百人ものZ世代の若者たちの自信を回復させ、数々の逆転合格へと導いてきました。そのメソッドは、ビジネスの現場はもちろん、家庭や子育てにも応用できます。 この研修では、「相手が自然と動きたくなるリーダーシップ」の本質をお伝えすると同時に、すぐに現場で実践できるスキルや、習慣化のポイントまで具体的にご紹介します。
コンテンツ	<u>1. 相手の主体性を引き出すための原理原則</u> ・ なぜ、コミュニケーションスキルだけでは人は動かないのか？ ・ イラストでわかる「人が自然と動き出すメンタルの仕組み」 ・ どうすれば人は変わるのか？逆転メンタルの実話から紐解く ・ 自ら動ける人材が、必ず備えている“ある条件”とは？ <u>2. 相手が動き出すリーダーシップの実践法</u> ・ 脳の仕組みを味方につければ、言葉は相手の心に届く ・ たった一言で成果が変わる！言葉の力を体感する（参加型ワーク） ・ 心の架け橋をつくる「魔法の承認」とは？ ・ 「承認力」を高めるための3つの秘訣 <u>3. “動きたくなる関わり方”を無理なく習慣化するには</u> ・ 「承認ベースの対話」が継続できない根本原因 ・ 習慣化には段階がある —リーダーが知っておくべき成長プロセス ・ 感情に働きかける“究極のスイッチ”が、相手の潜在能力を解放する ・ 愛情×〇〇で組織力も高まり、自然と売り上げも上がる

○ 参加者のご感想

- ・ 笑いあり、涙ありで本当によかったです。第二弾あればまたお聞きしたいです。
- ・ 教わった関わり方を実践したら、部下から声をかけてもらうことが増えました。その結果、組織内での「報連相」がよりスムーズになり、組織の結束が高まりました。
- ・ 講演会の内容を1つずつ実践することで、内部外部問わず仕事の流れが良くなった。
- ・ リーダーとしても親としても自信が持てず“頑張らなきゃ”と力みすぎて疲れていた自分に気づけました。どう乗り越えるかが腑に落ち、職場だけでなく子育てにもすぐ応用しています。